

平和の夏

50回記念の平和大行進

9条守れ！核兵器の廃絶を！

新飯能

発行
日本共産党
飯能市委員会
973-1091

金子とし江
090-7265-1601
山田とし子
090-4389-4439
新井たくみ
090-4010-5650
滝沢おさむ
090-7000-4481

<議員団の連絡先>
973-2111(市役所456)
Mail jcp-sigi@pluto.plala.or.jp



原水爆禁止飯能市協議会は8日、2008年平和行進を行いました。午前10時に市役所前で集会を開き、飯能日高地域労働組合議長の杉田実さんが挨拶。「子どもたちに平和な世の中を渡したい」「憲法9条守り核兵器のない社会を」など、一人ひとりが平和や核廃絶などの思いを語りました。



生協、新日本婦人の会、など市内の民主団体、個人が参加しました。今年50回記念という節目にあたり、「平和憲法9条を守ろう」「世界から核兵器をなくせ」「ノーモア広島・ノーモア長崎」など力強いシュプレヒコールの声が街中に響き渡りました。

「頑張って！」と次々署名

前日の7日には、「すみやかな核兵器廃絶のために」の署名行動が行われました。この署名行動は広島、長崎に原爆が投下された日付から、6・9行動と呼ばれ、長年に

わたり毎月行われており、既に1万数千筆の署名が国連などに届けられています。この日も若い女性が快く署名に応じる姿が見受けられ、短時間で約50筆の署名が集まりました。

大きな運動で長崎・広島を繰り返すな！

まもなく梅雨明け、暑い太陽が照りつける季節になります。今年は、あの忌まわしい大戦から63年目の夏です。広島、長崎に投下された原子爆弾は多くの民間人が犠牲者となりました。また、いまだに原爆症で苦しんでいる被害者は25万人も

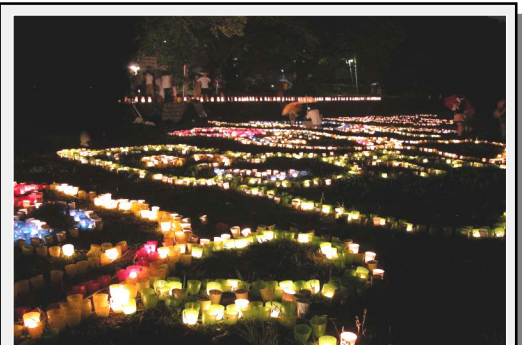
議員不要論か

出ないような活動が必要

市議会・議会のあり方研究会

飯能市議会内に立ち上げた議会のあり方研究会の実質的な初会議が7日開かれました。

この日は、日本共産党が資料として請求した全国市議会議長会の地方分権と市議会の活性化に関する調査研究報告書に基



6日夜、飯能河原に2万個のキャンドルが灯されました。地球温暖化防止(エコウェーブ)の一斉行動に市内の若手経営者が企画しました。途中から雨模様となりましたが、暗闇にムーミンの絵柄やLOVEHANNOの文字が浮かび上がりました。

波 紋

長島茂男は引退するときに「巨人軍は永久に不滅です」といいました。「永久に不滅」だなんて長島さんらしい面白いもの言い方だと思いませんか、少し大げさなんじゃないかなという感じも否めませんでした▼「日本共産党の七十年」には、特高に逮捕された小林多喜二の死について「小林は同署で警視庁特高中川、山口、須田たちの前後三時間以上にわたる残虐をきわめた拷問をうけ、七時ごろ危篤状態で築地署裏の前田病院にはこぼれ、まもなく絶命した。午後七時四十五分であった。小林は身をもって党と信念をまもり、最後まで屈しなかつた二十九歳の若さであった。」と書かれています▼その多喜二の「蟹工船」が今多くの若者に読まれているといえます。なぜそんなにブームなのかという議論もさかんです。「蟹工船」に労働者の地獄のような過酷な現実があります。たたかいて希望という鉅脈があります。多喜二は権力によって虐殺されましたが、多喜二の作品は時代を超えて生き続け、若者に生きる勇氣を与えてくれています。不滅という言葉がぴった

づいて、議論がすすめられました。

委員の中から、「全員協議会が市長要請による議員相互の議論や議案に至らないものの研究などができていない」との問題提起があり、全協のあ

り方を一つの柱にしていくことになりました。新井市議は、「議員削減や不要論が言われることがあるが、我党が最近実施したアンケートで議員に何を望むか聞いたところ、税金のムダ使いをチェックしてほしいというのが7割、市民の声を聞いてほしいというのが4割だった。市民の期待に応えてしっかり活動すれば、定数削減などの声は出ないはず。そのためにはどういふ議会にしていくかの議論が必要。議会報告や公聴会・参考人制度の活用なども必要だ」と発言しました。

今後、そうした議論も含め全協のあり方、議員定数のあり方なども議論されることになりました。

学校給食法の改正で

地域の農産物の活用を明記

今国会で「学校給食法」が改正されました。その内容は、「食生活の改善」から「食に関する



指導と食育の推進」へ転換したことです。

「地域の農産物を学校給食に活用すること」

(十条関係)も明記されました。すでに各地で、学校給食に地産地消を取り入れている事例がみられます。こうした積極的な取り組みが法的にも位置づけられたことにより、今後、予算措置など行政の支

援措置が求められます。

また、農産物の調達や献立づくりなど、生産者と学校をつなぐコーディネーターとなっているのが栄養教諭ですが、その配置が一向に進んでいないことも大きな問題です。

飯能市では、小学校に6名、中学校に2名の栄養士が配属され、23校を兼務していま

すが、栄養教諭は一人もいないのが実態です。行政が心ひとつにして食育推進を

飯能市では、農業委員会が中心になって、学校給食への地元農産物を活用する地産地消を進めており、25品目14トンに及んでいますが、教育委員会としても、地域農業の理解を深めていくような位置づけが必要です。

国は22年までに50%の自治体が食育推進計画を制定することをめざすとしています。実際には計画を策定し

映画&みんなであたおうのタベ

映画「人間をかえせ」

うたごえコーナー

友情出演 フォークグループ「スカブラ」

8月2日(土) 午後6時

飯能中央公民館第2、第3会議室

映画「人間をかえせ」は米国の戦略爆撃調査団が、原子爆弾の破壊効果を、85000フィートにも及ぶ記録フィルムで、ワシントンの国立公文書館に保存。1980年、10フィート買い戻し運動で手に入れ編集した核兵器告発の映画です。

主催：ダーちゃんの会

学習と意見交流のつどい

9条世界会議(幕張メッセ)の意義、憲法9条をめぐる情勢の特徴、草の根からの活動

7月25日(金) 午後7時

中央公民館第4学習室

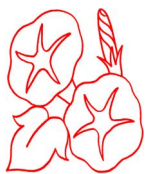
話す人 杉田 実さん



主催：奥むさし・文化9条の会

文化欄

- 万緑や天然出で湯の幟立つ
- 七月や暮らしの痛手値上げ責め



- 佐藤志づえ 宣告とたたかい手渡す快気祝生きぬく気概先人に学ぶと
- 宣伝カーのうぜんか ずらに会釈をし

本郷笑子

主催：観光協会名栗支部

手前駐車場

名栗・さわらびの湯

9時30分

午後7時30分

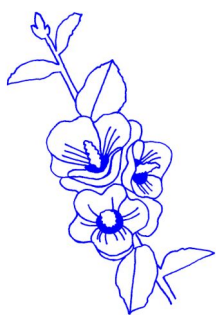
7月12~13日(土・日) 午後7時30分

ほたる鑑賞の集い

た自治体はわずか5%程度、飯能市でも検討すらされていません。6月議会の新井市議の質問に、市民生活部の佐野参事は「協心戮力(きょうしんりくりきょく)で推進していく」と答弁しています。健康推進部、農林課、教育委員会が一体になって食育を進める必要があります。いよいよ、学校給食の位置づけは重要になってきました。

裁判員制度はだれのため?

民主文庫の会が講演会



来年5月から裁判員制度が開始されるといふ。「もし自分が選ばれてしまったらどうしよう、私には人を裁くことなどできない。私は裁判員になりたくない」とその思いから6日、日高・飯能民主文庫の会主催の「裁判員制度はだれのため?」とした講演会に参加した。司法の分野はまるで難しく解らない、解らうとしない、あまりにも言葉が難しい専門家に任せておけばいい。優秀な頭脳明晰な人が

行なうもの。私はそう思っていた。しかし、この制度に賛成の立場の鍛冶先生の話によれば、「今の刑事裁判の有罪率は99.9%になつており、裁判官は毎日有罪の裁判を取り扱い有罪事件に慣れきつて職業裁判官になつてしまつてゐる。市民が裁判に参加することにより、さまざま知識・経験に基づき意見や問題点が出されて裁判官の思い込みや決め付けを是正する効果が期待される。その結果、誤まつた有罪判決がより少なくなり刑事裁判は正しい方向へ向かつていく。国民には今の刑事裁判のひどい状況を知ってもらいたい。自分や家族が被告になつたときに、今の裁判官だけの刑事裁判でいいのかどうか自分たちの自由を守るために必要なものだという話を理解してほしい」と話された。真面目に向き合わなくてはならないと感じた。それでも人は裁けそうにない。

小出恵美子